

地域密着型サービス 運営推進会議(書面会議)報告書

施設名 : デイサービスゆうゆう広場
 日時 : 令和 4年 12月 12日(金)

出席者	利用者代表	2人	出雲あんしん支援センター職員	1人
	利用者家族	1人		
	地域の代表	1人	事業所社員	2人

(議題)

1. ゆうゆう広場の概要
2. 利用状況
3. 日々の活動報告
4. 意見交換

(報告事項)

1. ゆうゆう広場の概要
 法人名 : エイコー電子工業株式会社
 営業日 : 月～土曜日
 サービス提供時間 : 9:20～16:30
 利用定員 : 10人
2. 利用状況(令和4年12月10日現在、利用者数14名…男性:3名、女性:11名)
 平均介護度 1.94 (R4年6月 1.74)

利用状況									入浴状況		
曜日	利用数	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	特浴	個浴	シャワー浴
月	5人		1	2	1			1		3	2
火	7人		2	2		2		1		6	0
水	4人			1	1		1	1		0	2
木	6人	1		2		2		1		4	1
金	5人		1	2	1			1		3	1
土	7人		2	1	1	2		1		5	1

(年齢別) 70代…2名 80代…2名 90代…10名

3.日々の活動

8:30	送迎車(迎え)ゆうゆう広場出発	
9:20	送迎車ゆうゆう広場到着	
	・お茶	
	・健康観察(血圧、脈、体温、体調確認)	・入浴(午前)開始
10:00	手作業(手先、頭の体操)	↓
	・フロア飾り、小物作り、脳トレーニングなど	↓
	(トイレ声かけ、誘導)	・入浴終了
11:30	手作業終了 (トイレ声かけ、誘導)	
12:00	昼食	
12:30	午睡	・入浴(午後)開始
14:00	午睡終了	↓
	(トイレ声かけ、誘導)	↓
	集団体操、レクリエーション(ゲームなど)	・入浴終了
15:30	お茶	
16:00	歌 (トイレ声掛け、誘導)	
16:25	帰りの準備	
16:30	送迎車(送り)ゆうゆう広場出発	

(時節の活動)

	外出	行事	ボランティア
7月			
8月			
9月			
10月			
11月	*11日、12日、16日・立久恵方面紅葉見学 *30日・多伎～大社方面ドライブ		
12月		*クリスマス会	

*一人一人の誕生日に誕生カードを作りお渡ししています。

3.今回(令和4年7月～12月)の活動報告

長い間のコロナ禍ですが、利用者の皆様は「仕方がないわね」と我慢して下さいています。

11月の初めは感染者数が少し収まっていたので、少人数で感染予防を行いながら立久恵方面まで紅葉見学に出掛けました。久しぶりの外出で利用者の方々も大変喜ばれ、「綺麗だったわ」と言って下さり、車内での会話も弾んでいました。

日々の活動では、職員一人一人が体操やレクリエーションを考え、利用者の方に楽しんで頂けるように取り組んでいます。

午後からのおやつは季節に合わせてのメニューを考え、きな粉団子、ぜんざい、焼き芋などのメインと煮物やお浸しなどと果物を一緒にお出し喜んで頂いています。

今後も活動やおやつなどを試行錯誤し、利用者の方々のコロナ禍での不安を少しでも減らし、楽しみを持って過ごして頂けるように職員全員で支援していきたいと思っております。

4.意見交換(ご感想、ご意見、ご質問)

①利用者様より...

(感想) ・週1回利用していますが、出かけると気分転換になり良いです。最近では、入院されたりショートステイに泊まりに行かれる人が多く利用される人数が少なくなりました。もう少し人数が増えてほしいです。

(応答) ・最近では、入院されたりショートステイを利用される方が多くなり寂しいですね。出来るだけ早く利用者の方が増えるように取り組んでいきますので、もうしばらくお待ちください。

(感想) ・週3回利用しています。出掛けるのがたいぎな時もありますが家では家族とそんなに沢山話すこともないので、出掛けて同年代の方と昔の話や今の気持ちを話せるので良いです。

(応答) ・デイサービスに出掛けて同年代の方と昔の話をされたり、今の気持ちを共感されると不安感が減りますね。私達も一緒に会話に参加させてもらい、皆様のお気持ちがわかり、これからの介護の参考にさせて頂いています。

③あんしん支援センター職員様より・・・

(質問) ・久しぶりの外出、利用者の皆さんもとても喜ばれたことと思います。「コロナだから出来ない」と諦めることが多い中で、このような状況だからこそより利用者1人ひとりのニーズに合った援助ができるように職員の皆さんが工夫しておられる姿が伺えました。また、利用者数が減少しているとのことですが、新規利用者を増やすために取り組んでおられることがあれば教えていただきたいです。

(応答) ・コロナ禍ですが、これからも感染症対策を行い利用者の皆様が楽しんで頂けるように外出の提供も取り組んでいきたいと思ひます。利用者が少なくなり寂しい思ひをされている利用者の方がいらっしゃいますので、ケアマネージャーさんへの営業や地域へのパンフレットの配布などに力を入れ新規利用者を増やし、利用者間の交流で楽しみが持てるようにしていきたいと思ひます。